

定例公安委員会開催概要

1 開催日

令和6(2024)年4月10日

2 開催内容

次の議題について、警察本部から説明・報告がなされ、決裁等が行われた。

■全体会議

【公安委員会から】

冒頭、委員から、

「警察学校の入校式に出席してきたが、若い職員による、元気のよい誓いの言葉が印象的であった。また、白バイの出動式にも出席してきたが、颯爽とした様子が見て清々しい気持ちになった。東京・京都でライドシェアが導入されるなど、交通事情の変化が目ざましい。警察は、これらに適切に対応しなければならないので、関連業界の動きを注視してもらいたい。」

旨の発言があった。

【生活安全全部議題】

○ 令和6年度特殊詐欺被害防止広報事業に係る企画コンペの開催について

警察本部から、「県民の安全で安心な生活に脅威を与え、依然として高齢者の被害割合が高い特殊詐欺について、県民の情報源であるテレビコマーシャルを介した注意喚起を行うほか、同コマーシャルと連動したポスター・チラシを活用した広報啓発を展開し、防犯意識の醸成を図るため、令和6年度特殊詐欺被害防止広報事業にかかる企画コンペを開催する。開催日時等は、令和6年4月12日金曜日の午後1時30分から午後5時までの間、本部地下3階会議室で行い、企画コンペ参加業者に時間を割り当てて、それぞれプレゼンを行っていただく。審査員は、コンペの透明性・公平性を確保するため、警察以外の県の職員や学識者を参加させ、審査委員長は、生活安全企画課長が務める。企画コンペ参加業者は、いずれも県内に事業所、営業所を置く業者5社である。令和5年度事業のCMの内容は、元プロボクサー八重樫東（やえがし あきら）さんと大相撲錦木関を共演させ、各手口を紹介し、注意喚起する内容とした。」旨の説明があった。

《 委員発言 》

「期間中の継続的な広報も重要ではあるが、立て続けに見せるなどの集中型の広報も有効であると思う。まずは、最新の手口を紹介することが予防の第一段階だと思われるので、インパクトのある広報に努めていただきたい。」

【刑事部議題】

○ 専決事務処理状況（令和6年1月～3月）について

警察本部から、「暴力団対策法に基づく責任者講習の実施状況について報告する。第4四半期中は令和6年1月から3月まで、計4回の講習を実施し、主に郵便業、建設業、銀行業等の事業者が受講した。今年度は、全19回の講習を計画している。」旨の報告があった。

【警備部議題】

○ 石川県能登地方を震源とする地震に伴う本県警察官の派遣について

警察本部から、「石川県能登地方地震災害の発生に伴い、本県警察では石川県公安委員会からの警察職員の援助要求を受諾し、同要求内容に基づいて本県警察官を石川県警察に特別派遣しているところ、新たに、特別自動車警ら部隊（派遣期間：令和6年4月14日から4月25日まで（12日間）、派遣人員：6名、派遣先等：石川県内でのパトカーによる警戒活動）の援助要求を受けた。」旨の説明があり、決裁した。

○ 専決事務処理状況（令和6年1月～3月）について

警察本部から、「令和6年1月から3月までの間における集会、集団行進及び集団示威運動に関する専決事務処理状況について、集会の届出受理件数は、10件と前年同期比で2件増加しており、集団行進・集団示威運動の許可申請件数は、27件で前年同数であった。また、集会の実施件数は、10件と前年同期比で2件増加しており、集団行進・集団示威運動の実施件数は、29件で前年同期比で3件増加している。」旨の報告があった。

■個別会議

○ 監察課

監察課業務報告

○ 運転免許課

免許取消等処分関係に係る意見の聴取結果等の説明、決裁

○ 人身安全少年課

ストーカー規制法による禁止命令等実施報告

○ 総務課

県下警察署長会議における公安委員会の対応についての説明、決裁